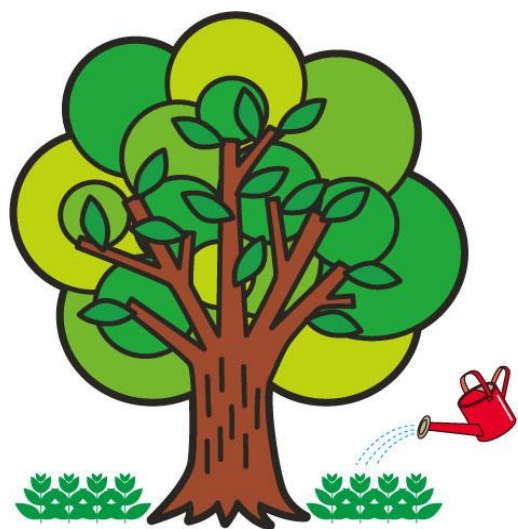
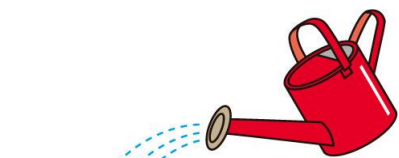


「草をトルトルアミ/酸 ジョウロでまくだけ安心・簡単除草剤」イラスト入使用説明



①木の根元に散布しても、根から吸収しないので、木の根元の雑草は枯れますが樹木は枯れません。



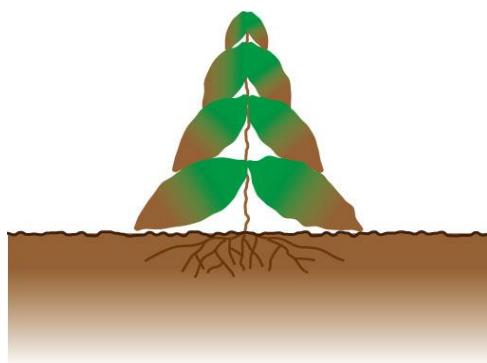
雑草の葉部分にジョウロ・スプレーで掛けます。

基本的な希釈率は100倍～200倍



②散布した際、土に落ちた除草成分は土壌微生物により天然物質に分解されます。

ドクダミ・スギナ等の茶系の葉を持つ雑草には濃度50倍程度の希釈率の液散布が効果的です。

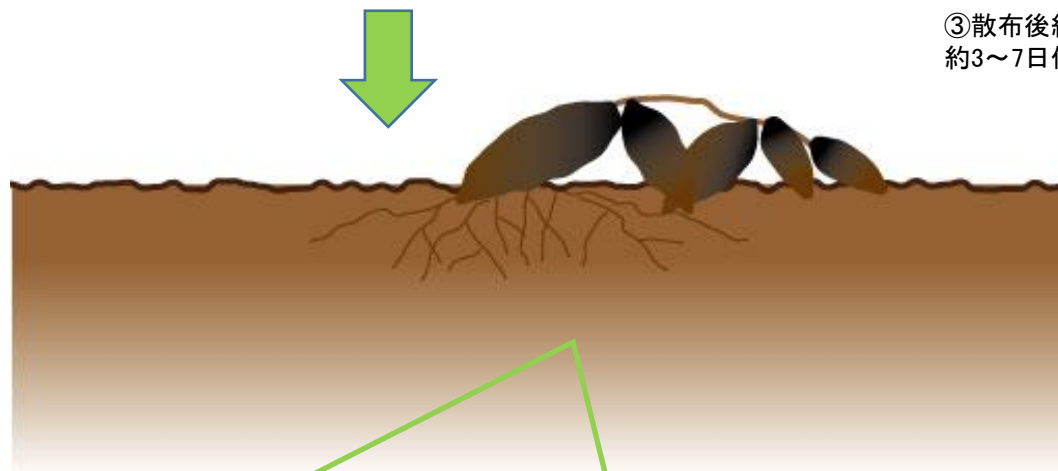


④散布して約7日位から植物タンパク質合成作用を植物の葉を通して阻害し始めます。
(主成分となる界面活性剤の動物性アミノ酸が作用)



葉や茎から吸収し根にまで至ります。

③散布後約1～10時間位で葉・茎から吸収され約3～7日位で植物体内に移行します。



⑤散布後、約15日位から植物体の枯死が目立ってきます。

雑草に対する効果

繭由来のアミノ酸(動物性アミノ酸)類中、最も簡単な構造グリシンとリン酸誘導体が反応することにより、低毒素性物質が出来、植物アミノ酸類によるタンパク質合成作用を阻害する働きがあります。

この原理に従い、一種のアミノ酸誘導体(グリホサート)イソプロピルアミン塩が、雑草の葉・茎から吸収され、「**タンパク質合成作用の阻害**」による内部組織分解が行われるので結果として生命維持が出来なくなり枯死状態となります。

注意！！:基本的に雑草の緑色部分の葉や茎に散布しますが、育成中植物の緑色の葉に散布するとその植物の葉は枯れてしまいます。植物の茎が茶色のものであれば茎はタンパク質から出来ている為、葉のみの枯死となります。雑草のみの散布を行って下さい。